

高槻市長 濱田剛史殿

2020年8月6日

日本共産党高槻市議員団

PCR検査を大幅に増やすことを求める要望書

緊急事態が解除され、GOTOトラベルキャンペーンもあり、急激に感染者が増えています。高槻市でも、感染者は7月8日の2倍になりました。大阪市の一部では市中感染が広がっていると思われます。だからこそ感染震源地と高リスクの施設へのPCR検査を大幅に増やすことが求められます。PCR検査に限って以下の要望をいたします。

- 1、エピセンター（感染激増地）を明確にし、PCR検査を大幅に増やし、隔離と保護を徹底するように大阪府と国に求めること。
- 2、病院・介護施設などの職員への定期的な検査を高槻市で実施すること。
- 3、急増する感染者対策として、無症状・軽症、中等症、重症の感染者の受け入れ先を確保すること。
- 4、医療施設と従事者への財政支援を国と大阪府に求めること。サージカルマスクなどについても、市として提供できるようにすること。